

作

春過ぎて 夏も過ぎ去る コロナいつ

マスクして 挨拶するも たしかめる

コロナ禍で 制限守り 散歩する 我住む町の 川風うけて

画面越し 孫の「じいじ」に 癒されて

家飲みで 妻との距離は 近くなり

コロナにて 覚えた横文字 パンデミックに ソーシャルディタンス

孫見たし コロナ恐し ただがまん

公民館 行事奪われ 郭公鳴く(かつこなく)

公民館 コロナ翻弄 さるる初夏

コロナ禍を 知ってか否か 初つばめ

コロナ禍は 想定外や 夏来る

令和二年 想定外の 夏は来ぬ

蔓薔薇や 右往左往す ウイルス禍

コロナ禍の 窓明け放す 夏の蝶

芍薬や コロナの治療薬を待つ

三密避け コロナ禍やまず 夏の雲

県またぐ 移動自粛や 夏つばめ

十薬や 待たるるコロナ 治療薬

コロナ禍の やむ兆しなく 桐の花

百万石 まつり奪われ 古都薄暑

町会

年齢

額新町

80代

額新町

80代

額新町

80代

馬替

60代

馬替

60代

馬替

70代

馬替

70代

馬替

70代

馬替

70代

馬替

70代

馬替

70代

馬替

70代

馬替

70代

馬替

70代

馬替

70代

馬替

70代

馬替

70代

馬替

70代

馬替

70代

馬替

70代